

平成 22 年 12 月 27 日

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経営企画部長 鈴木 文彦
電話番号 03-5730-2480

塩野義製薬とアンジェス MGがアトピー性皮膚炎治療薬の共同開発について合意

当社は、この度、塩野義製薬株式会社との間で、核酸医薬である NF- κ B デコイオリゴを使用したアトピー性皮膚炎の治療薬を共同開発するライセンス契約を締結致しましたのでお知らせいたします。

当社は NF- κ B デコイオリゴに関して、アトピー性皮膚炎などへの適応の開発を進めて参りました。この度、グローバルに事業展開しており、かつ、優れた開発力を有する塩野義製薬と、本薬のアトピー性皮膚炎適応に関する共同開発及び全世界における独占的な販売権許諾に合意致しました。許諾対象はアトピー性皮膚炎に限らず、欧米に患者数の多い尋常性乾癬など、外用剤により治療する皮膚疾患全般が含まれております。

本提携により、これまで培ってきた当社の核酸医薬と NF- κ B デコイオリゴに係わる研究開発ノウハウに加え、塩野義製薬の開発力が合わさることによって、より迅速な開発が可能となり、NF- κ B デコイオリゴの価値を最大化できると考えております。

アトピー性皮膚炎は日本のみでも 280 万人、米国では 1000 万人の患者がいると推定され、その数は増加傾向にあります。また、既存の薬剤は皮膚刺激性や局所副作用などの安全性の観点から全ての医療ニーズを満たしているとは言えず、より安全性の高い薬剤が新たな治療選択肢として求められています。

NF- κ B デコイオリゴはこれまでに無い新規の薬理作用を有していることから、有効かつ刺激性の少ない新しいタイプの皮膚外用剤としての応用が期待されます。今後、塩野義製薬との共同開発において、さらに臨床試験を重ねることを通じ、NF- κ B デコイオリゴのアトピー性皮膚炎に対する有用性を検証してまいります。

本件による 2010 年 12 月期における業績に与える影響はありません。

以上

<ご参考>

－ 用語の解説 －

1. NF- κ B (nuclear factor-kappa B)

遺伝子は、生体の恒常性を維持する上で重要な働きを担っていますが、ほとんどの遺伝子が常に使われているわけではありません。遺伝子を必要な時に使うためにコントロールしているのが、転写因子と呼ばれるたん白質です。NF- κ B は重要な役割を担っている転写因子の一つであり、炎症、免疫やストレスなどに関連した様々な遺伝子の発現を調節しています。しかしながら、NF- κ B は、様々な原因により過剰に活性化されると、遺伝子の発現が止められなくなり、過度の炎症や免疫反応を引き起こします。

実際に、アトピー性皮膚炎、乾癬、関節リウマチなど異常な炎症や免疫反応が原因となっている疾患への NF- κ B の関与が指摘されています。

2. デコイ

遺伝子は、転写因子がゲノムに結合することで発現しますが、デコイは、そのゲノム上の転写因子結合部位と同じ配列を含む二重鎖の短い核酸で、体内に投与すると転写因子がゲノムに結合することを阻害して遺伝子の働きを抑えます。

3. NF- κ B デコイオリゴ (NF- κ B decoy oligodeoxynucleotide)

NF- κ B デコイオリゴは、NF- κ B に対するデコイであり、転写因子そのものを標的とすることから、既存の薬剤と比較して治療薬として優位性があると考えられ、また副作用の面でも軽減することが期待されます。当社では、アトピー性皮膚炎、乾癬や関節リウマチなど免疫反応を原因とする疾患の治療薬として開発しております。

4. アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎は、痒みのある湿疹を伴う皮膚炎で、悪化や改善を繰り返しながら長期間続くのが特徴です。過剰免疫によるアレルギー反応が原因と考えられており、卵や牛乳等の飲食、ダニやホコリ等の環境、及びストレスなどによっても生じる場合もあります。患者数は増加傾向にあり、現在、日本で約280万人と推定されております。